

情報公開 市民参加 市民派無所属
府中市議会議員

ゆうきりょう

市政
通信



毎日ブログ更新中

結城りょう



府中市に障害者、高齢者福祉施設での新型コロナ感染拡大予防策には特別の対策を求めたい

府中市のコロナ感染者 クラスターは少数、家庭内感染、市中感染が多い



府中市内でも11月以降新型コロナの患者が増えています。府中市の感染者数もこの11月21日からの1ヶ月間で71人増加という「ハイペース」ぶりです。また府中保健所の管内でも、11月になり新型コロナの患者が急増し、新型コロナ感染患者数も1000人台から一気に2000人になっています(12月21日現在)。府中市の議会答弁にありましたが、府中市内の新型コロナ感染の原因の多くは家庭内感染、友人や同僚との会食、旅行などマスクをはずした接触の機会を長時間持つ場合に感染している場合が多数だと分析しています。

私は免疫力が弱いといわれる高齢者、障害者の方に対する予防・対策では介護施設や障害者施設などの福祉施設関係でのコロナの感染防止拡大に、市は特別に力を入れる必要があると議会で取り上げてきました。市は高齢者・障害者施設でも特養ホームには「配置医」はいるしていますが、有料老人ホーム、デイサービスなどはクラスターが発生した場合の対応措置には厳重な予防策が必要です。9月には老人保健介護施設「ウイング」(四谷6丁目)で40名以上のクラスターが発生したことを、市は教訓にして対策を講じるべきです。

市内障害者福祉施設でコロナ感染者が発生・・・市に感染防止策を要望しました

障害者福祉施設「みずき」(朝日町)のホームページによると同施設利用者の方が、11月24日付で新型コロナウイルス感染者が発生したことを伝えています。それによると同施設でコロナ感染者が発生した経過について、①11月20日に施設利用者1名がPCR検査で陽性判明、濃厚接触者4名、および接触可能性のある方24名について、PCR検査を実施して全員が陰性判明とのことです。(なお同施設は事業を再開しています)

私は今回の件で、市長あてに要望書を提出し、①高齢者や障害者施設の送迎車に施設利用者の方を乗車させる前に、デジタル体温計で検温対策を実施すること、②施設職員の出勤前における検温調査の徹底、障害者(高齢者)搬送車の乗る前における各家庭での検温義務付けなどを再度、要望しました。



府中市が令和3年度、国民健康保険料を引き上げます・・・ゆうきりょうは引き上げに反対をしました

府中市は国民健康保険料について来年度、1世帯平均1700円程度の引き上げる条例改定案を12月議会に提案し、賛成多数で可決されました。私、ゆうきりょうは「コロナ禍において市民生活が疲弊している今日、国保料の引き上げはするべきではない」として反対をしました。

保 育所、学童クラブも「密」な接触現場なので予防策の徹底を
また小学校や保育園などの感染例について、府中市でも数件発生していますが、子どもから子どもに感染している事例についてはほほないとのこと。要因としては、各学校での感染防止対策を徹底していることが考えられますが、今後も警戒すべきは、子どもたちどうしによる接触の「密」が濃厚な場所となる保育所や学童保育の現場です。家庭内感染した子どもが、「密」な接触により感染拡大の可能性はあるだけに厳重な予防体制が必要です。

発熱などの症状がでたら、まずは「かかりつけ医」に相談することをお勧めします・・・府中市でPCR検査を体験された市民の方の声から

今回初めてPCR検査をしましたが、この体験で思ったのは、各自治体の医師会により検査受付の仕組みが違うのでないかということです。府中市では「コロナ患者を診察でき治療受け入れをする病院」はあるのですが、検査受付は府中市内の医師の判断により、その医師が予約を行うことができます。

私の体験から府中市内でPCR検査を希望する方は

- ①発熱などある方は保健所、「帰国者相談センター」に相談すること。
- ②かかりつけ医がない場合は、近隣のクリニックに相談すること。
- ③保健所の電話が繋がらない場合は、まずかかりつけの医師に電話で相談すること。
- ④検査したいが保健所の検査基準に満たない場合でも、かかりつけの医師に相談すること。

私の体験上この4点がよいと思います。

なおPCR検査について10,000円前後の費用をうたう病院の広告宣伝を最近よく見ますが、府中市の場合そこを利用する必要もなく、もし陽性だった場合の治療を考えるなら上記ルートでの検査がよいと思います。

大型病院での受診より街の「かかりつけ医」、またはクリニックに相談するほうが自然で有効

PCR検査の結果は、①3~4日間でかかりつけの先生から電話でいただけます。②陽性の場合は追って保健所から指示が来ます。府中市ではかかりつけの先生の比重が非常に高いことが分かりました。ある意味この考え方は昔ながらの方法ではありますが、理にかなったシステムとも考えられます。また新型コロナ以後、大型病院は初診の受け入れをやめているところも多いです。私が利用している市内の大型病院でも、耳鼻科を受診希望したところ、「まず地域のお医者さんに診ていただいて、必要なら紹介状を書いていただき来てください」と言われました。

とかく大型病院をもてはやしがちですが、多摩地区のこういうシステムは自然でかつ有効だと思います。今回のような困難な状況でも、それなりに有効なのではないでしょうか。もっとそうした考えを市民、転入してきた市民に理解してもらうように、市として宣伝・普及させることが大事だと思いました。

府中市浅間町の基地留保地活用計画について・・新型コロナ ナ終焉後の社会の趨勢も見据えた街づくりを求めたい

府中市がかかげる「イノベーション創出」のまちづくりとは



12月10日、府中市議会の基地跡地等特別委員会が開催され、浅間町の基地留保地跡地活用(旧米軍基地跡地、15ヘクタール)について、「公(行政)」「民(民間、市民)」「学(学園)」の3つが連携し、「イノベーション創出」の街づくりという新たな考えが示されました。同跡地計画では19年に開発計画案を作成する企業として、大和ハウス工業株式会社武蔵野支社の提案が選定されています。

市街地と3つの拠点駅をつなぐ街づくり案

この留保地については17年に府中市から、①多様な活力創出、②住まい・暮らし、③スポーツ、文化、健康、という3つの大きなテーマに基づいた街づくりのデザインが示されていました。その後府中市は具体的な施設として①民間商業施設、②医療・福祉施設、③国立美術館保管収蔵研究施設、④市立総合体育館、⑤市立美術館駐車場、⑥市立小中学校、⑦低層住宅、⑧公園の立地を計画しています。

また浅間町のこの跡地は、京王線府中駅と東府中駅、西武線多磨駅という3つの拠点駅をつなぐ街づくりというコンセプトのもと、近隣にある府中の森芸術劇場、市立美術館、生涯学習センター、府中の森公園といった文化芸術、緑と公園という立地とも調和したコンセプト

を市はイメージしています。

活用方針に対する私の意見・・「コロナ後」の社会を見据えた街づくりの計画を求めたい

私は以前、基地留保地跡地の活用で3点主張し、①この基地留保地一帯が、グリーンベルトの一環と言いながら「浅間山」「府中の森公園」と比べて緑の割合(緑被率)が少ないこと。②1.8ヘクタールの商業スペースをつくる案であるが、この間、伊勢丹撤退問題にみられるように、大型民間商業施設は消費者のニーズとあわなくなっているのではないか(今や店舗の時代でなくネットでの商品説明⇒ネット注文⇒宅配)と指摘し、商業施設は撤退の可能性があること。③この基地留保地については、市として生態系調査を行い、貴重な自然環境の保全を行うことを意見要望しました。

この留保地計画が完成するのは7~8年後になると思いますが、その時の日本社会は現在と比べると大きく変貌していると思われます。今、新型コロナを契機にテレワーク(在宅勤務)の普及が進み、東京から地方都市への移住が進みはじめました。政府もそれを後押しし、東京からの人口は転出超過となっています。今回の浅間町跡地計画案も「コロナ禍」以前の計画案であり、「コロナ後」における社会経済の流れを推測しながら、今後の計画案を練ることが必要であることをあらためて市に求めたいと思います。

府中駅前の再開発事業を問う(検証その2)・・今も悔やまれる府中市 による「ル・シーニュ」の地下駐車場購入に6億円の市税投入

市議会で「ル・シーニュ」の保留所の買い手がないことが問題に



2019年9月の伊勢丹府中店の撤退に続き、「さくら市場館」もが11月末で閉店となりました。そこであらためて府中駅前再開発事業の総括、検証が必要ではないかと私は考えます。私が議員になった直後(平成27年年4月)、現在の「ル・シーニュ」は建設途中でしたが、そのなかで持ち上がった案件として、同ビルの地下駐車場(保留床)の買い手がつかないことが議会で問題なっていました。

2016年第1回定例会で、当時私が所属していた共産党議員団がこの問題を一般質問で取り上げた際、市の答弁として「再開発ビル地下駐車場の予定価格というのは6億円程度」という中身でした。この一般質問のなかで、府中市がこの地下駐車場について購入するかどうかについての質疑がされていました。

市の担当部長の答弁としては「再開発ビルの地下駐車場の購入の件について、再開発ビルの地下3階及び地下4階の駐車場から道路下の

公共駐車場に接続し、道路下の公共駐車場に車が進入できる計画となっておりました」「しかしながら、現在、駐車場保留床の処分先は確定しておりませんが、民間が購入し、民間が管理・運営した場合を想定するなど、駐車場の管理・運営方法のあり方などを踏まえて対応を検討しているところです。」「現時点では市が購入するか否かは決まっていない状況です」という答弁でした。つまりこの段階では市は再開発ビルの地下駐車場は購入する意思のないことを述べていたにもかかわらず、市はこの直後に同地下駐車場を6億円で購入することを決めました。

市の財政が豊かゆえに6億円投入が可能に

そして「ル・シーニュ」開店以降も、同地下駐車場の状態は空車の状況が長く続いています。あの段階で府中市が「(市が)購入するつもりはない」と明確な意思表示と断固たる決意をもって臨めば、6億円の市税投入ということも「防げた」のではないかと考えています。また再開発組合の側も、購入先を必死になって探したのではないのでしょうか。府中市は財政的に「豊か」であることに甘えてしまう体質があったのではないかと、悔やまれるしだいです。

結城りょうに 府中市政へのご意見、ご要望をお寄せください

ぜひ府中市に対する要望について、新型コロナウイルス感染拡大防止策でしに要望したい方、また市政全般の事柄について、ご要望のある方は、私の下記のメールアドレスに、お気軽にお寄せいただければと思います。こちらからメールで返信もさせていただいておりますので、よろしくお願いたします。メールアドレス yuki4551@ozzio.jp

電話の場合は、留守電にコメントを入れていただければありがたいです(電話にでれない場合もあり、後程こちらから掛けさせていただきます)。電話 090-4136-7642

住所 〒183-0004 府中市紅葉丘2-6-3 メイプルタウン吉野D202

また私、結城りょう はホームページのブログを毎日更新しておりますので、そちらもぜひご覧いただければ嬉しいです。「ホームページ検索→結城りょう」



府中市議会議員 結城りょう プロフィール

昭和45年(1970年)5月11日生、横浜市青葉区出身、大東文化大学法学部卒、労働組合事務局などの仕事を経て、2015年4月から府中市議会議員(現在、2期目)。所属する委員会は現在、厚生委員会、基地等跡地特別委員会、公契約関係競売入札妨害事件に係る再発防止対策特別委員会、府中市都市計画審議会委員。現在は無所属で一人会派「市民の風」に所属。